

交通事故発生状況（令和8年7月中）

交通事故の特徴

1 発生件数及び負傷者数は増加するも、死者数は減少

令和8年7月末の京都府内の交通事故発生状況は、発生件数2,138件（前年同期比＋70件、＋3.4%）、死者数18人（同比－13人、－41.9%）、負傷者数2,413人（同比＋102人、＋4.4%）です。

2 その他

交通事故死者18人のうち、8人が高齢者です。

亡くなられた方は、自動車乗車中3人、自二車乗車中4人、一般原付車乗車中2人、自転車乗用中が4人、歩行中等が5人となっています。

京都府内の発生状況

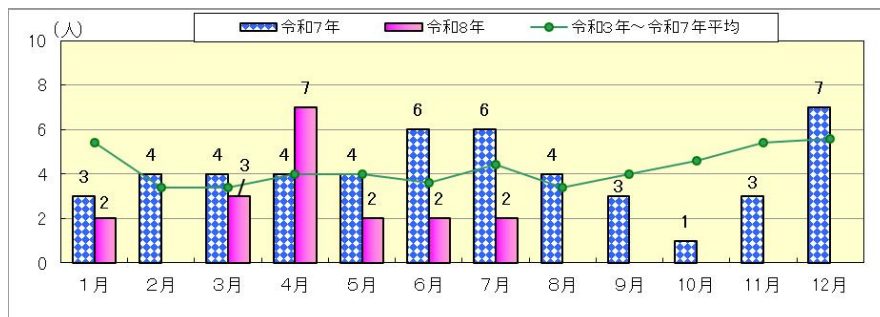
各年7月中

区分／年別	令和6年	令和7年	令和8年	前年同期比	
発生件数	280	282	264	-18	-6.4%
死者数	6	6	2	-4	-66.7%
負傷者数	311	314	317	3	1.0%

各年7月末

区分／年別	令和6年	令和7年	令和8年	前年同期比	
発生件数	2,221	2,068	2,138	70	3.4%
死者数	28	31	18	-13	-41.9%
負傷者数	2,521	2,311	2,413	102	4.4%

月別死者数



全国・近畿管区内の状況

全国の状況

令和8年7月末の全国の交通事故死者数は1,382人（前年同期比＋36人、＋2.7%）です。

神奈川県が77人で最も多く、次いで愛知県の75人、東京都の74人、千葉県及び兵庫県の70人の順となっており、京都府の18人は多い方から28番目です。

区分／年別	令和7年	令和8年	前年同期比
死者数	1,346	1,382	36（2.7%）

順位	都道府県別	死者数	前年同期比
第1位	神奈川県	77	2（2.7%）
第2位	愛知県	75	17（29.3%）
第3位	東京都	74	0（0.0%）
第4位	千葉県	70	4（6.1%）
第4位	兵庫県	70	21（42.9%）
第28位	京都府	18	-13（-41.9%）

近畿管区内の状況

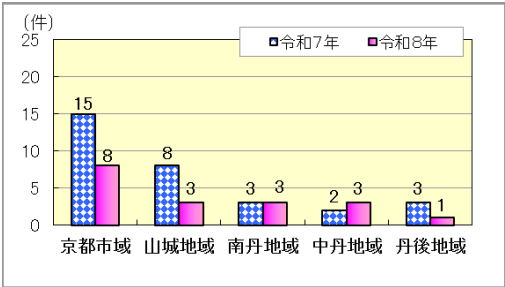
令和 8 年 7 月末の近畿管区内の交通事故死者数は、200人（－ 9 人）です。

都 道 府 県		死 者 数	前年同期比
近 畿 管 区		200	-9 (-4.3 %)
府 県 別	滋 賀	16	-12 (-42.9 %)
	京 都	18	-13 (-41.9 %)
	大 阪	62	-6 (-8.8 %)
	兵 庫	70	21 (42.9 %)
	奈 良	16	2 (14.3 %)
	和 歌 山	18	-1 (-5.3 %)

京都府内の死亡事故の特徴

発生地域別死亡事故件数

令和 8 年 7 月末現在、京都市域が 8 件、山城地域が 3 件、南丹地域が 3 件、中丹地域が 3 件、丹後地域が 1 件となっています。

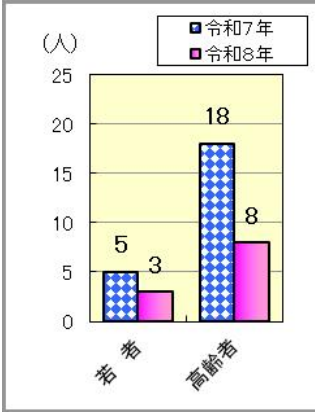
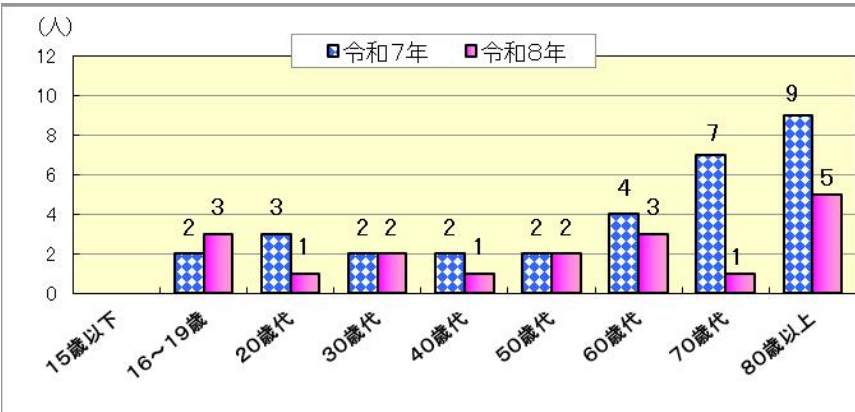


発生地域の内訳（令和 8 年 7 月末）

区 分	市 区 町 村
京都市域	左京区(2)、下京区(1)、右京区(1)、伏見区(1)、山科区(1)、西京区(2)
山城地域	宇治市(1)、城陽市(1)、木津川市(1)
南丹地域	亀岡市(1)、南丹市(2)
中丹地域	綾部市(2)、舞鶴市(1)
丹後地域	宮津市(1)

年齢層別死者数

高齢者の死者数は 8 人（前年同期比－10人）で、若者は 3 人（同比－ 2 人）です。

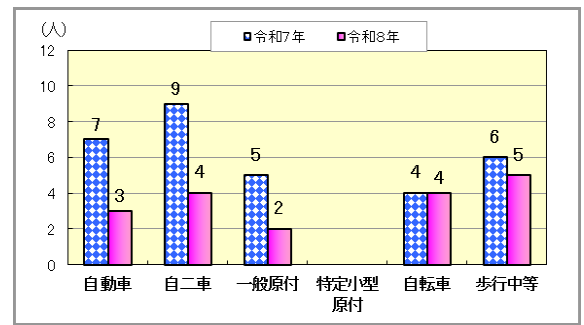


（注）「高齢者」とは65歳以上の方をいいます。

「若者」とは、16歳から24歳の方をいいます。

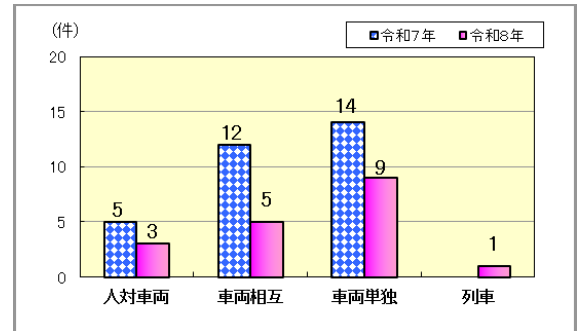
状態別死者数

自動車乗車中が3人、自動二輪車乗車中が4人、一般原付乗車中が2人、自転車乗用中が4人、歩行中等が5人となっています。

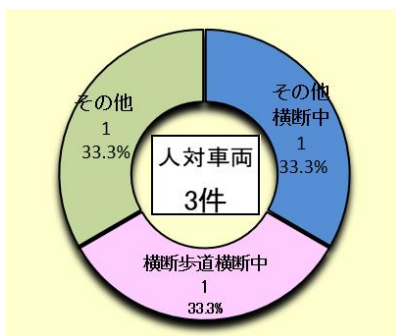


事故類型別死亡事故件数

人対車両が3件、車両相互が5件、車両単独が9件、列車が1件となっています。



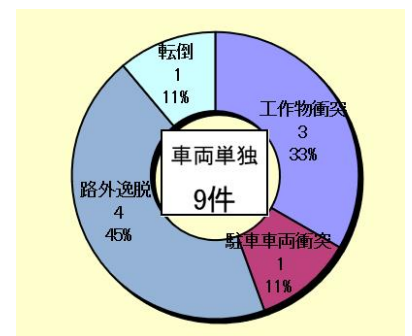
【人対車両事故の内訳】



【車両相互事故の内訳】

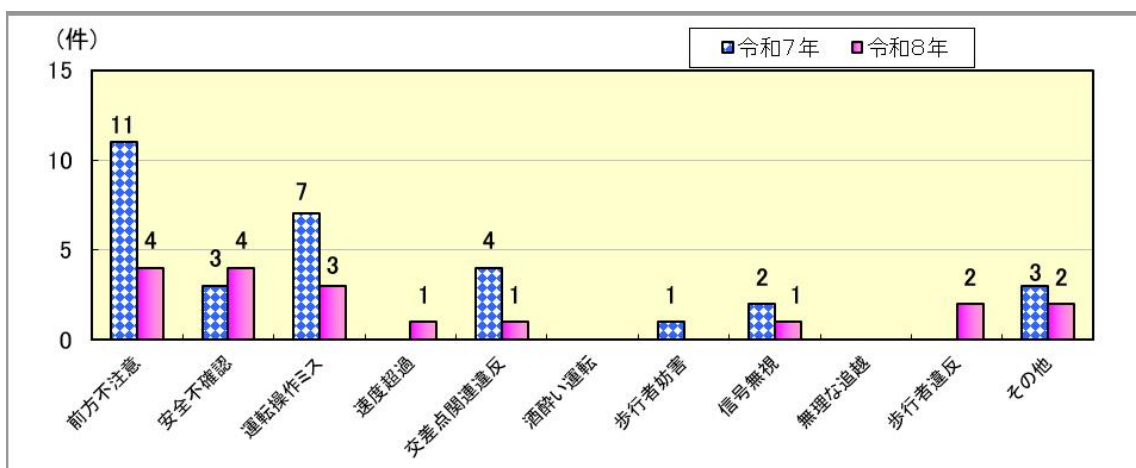


【車両単独事故の内訳】



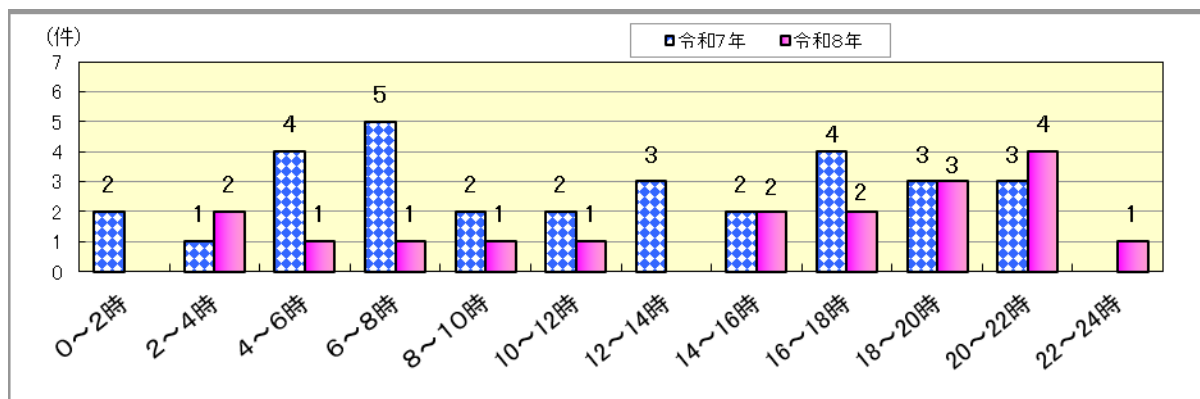
主な事故原因別（第1当事者）死亡事故件数

前方不注意が4件、安全不確認が4件、運転操作ミスが3件、速度超過が1件、交差点関連違反が1件、信号無視が1件、歩行者違反が2件、その他が2件となっています。



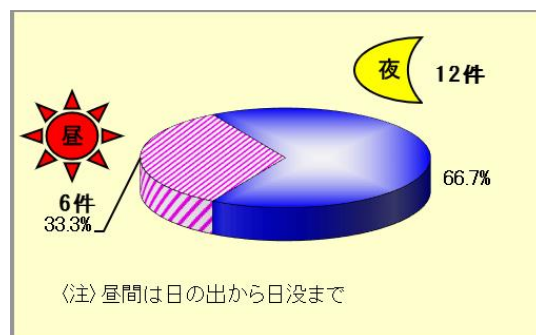
発生時間帯別死亡事故件数

20～22時に4件、18～20時に3件、2～4時、14～16時、16～18時に各2件、4～6時、6～8時、8～10時、10～12時、22～24時に各1件発生しています。



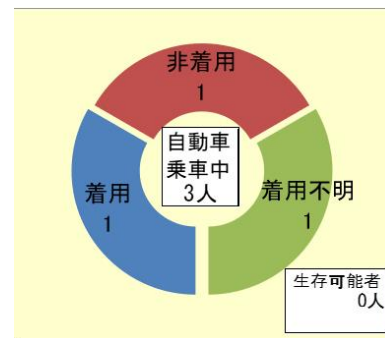
昼・夜間別死亡事故件数

死亡事故は、昼間に6件（前年同期比－13件）、夜間に12件（前年同期比±0件）発生しています。



シートベルト着用状況

自動車乗車中の死者は3人で、シートベルト着用が1人、シートベルト非着用が1人、着用不明が1人でした。



飲酒事故の状況

飲酒運転（第1当事者が原付以上の車両を運転し、酒酔い運転又は酒気帯び運転）による死亡事故は、本年は発生していません。

